

Chapter

02

STUDY PLAN-10P 入学生

01.履修申請	021
02.成績表の見方	026
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	027
04.卒業研究	030
05.卒業見込証明書	030
06.資格取得	031
07.カリキュラム	034

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで上で、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については別に配布するWeb履修申請ガイドをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

その他の注意事項

- ・教職関連科目に係わる授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道德教育の研究」および「人権教育」の科目について履修し、単位を取得した場合は8単位まで「現代社会と文化」分野の卒業要件単位に組み入れることができます。
- ・資格取得に必要な授業科目については、カリキュラム表を参照してください。

(2) 手続方法

① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイド巻末にある「履修申請下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③その他の注意事項

■コミュニケーション英語科目、ドイツ語科目の単位認定について

＜受講時の注意＞：単位認定には、以下の2つの方法があります。

- ① 出欠席を厳しくとります。英語の場合、1セメスターで特別な理由なく4回欠席した者には単位を与えません。また、30分以上の遅刻は出席とみなしません。
- ② 英語・ドイツ語は、次の資格を取得した者に、コミュニケーション英語科目あるいはドイツ語科目の所定の単位を認定します。

有する資格	認定科目	備考
英検2級又はTOEIC500点以上	コミュニケーション英語1・2	これ以外の資格は対象としません。
英検準1級又はTOEIC530点以上	コミュニケーション英語1・2・3・4	
ドイツ語検定4級	ドイツ語1	
ドイツ語検定3級	ドイツ語1・2・3	

1) 単位認定の申請方法

各資格認定書の原本(コピーを取り次第返却します)を代表教員に提出してください。

2) 評価の方法

「S」評価を与えます。

■「スポーツ科学実習」について

＜受講時の注意＞

- ・出欠席を厳しくとります。1セメスター3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した者は不合格となり単位は認定されません。
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用にしてください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ※本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。

(3) 自由科目

他学部(自分の所属する学部以外)および他学科(自分の所属する学科以外)の専門教育科目(人間環境学部は展開科目)を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち8単位までを、展開科目「学部共通科目」の卒業要件単位として算入することができます。編入生は、単位を修得した自由科目のうち、4単位までを展開科目「学部共通科目」の卒業要件単位として算入することができます。(これを「自由科目」と称します。)ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる(表示されている)科目から選択してください。

文化コミュニケーション学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
——	生活環境・スポーツ健康	8単位 (編入生は 4単位)	各学科の事情等により除外する 科目
経営	経営・流通		
経済	経済・国際経済		
工	機械工・交通機械工・都市創造工・電子情報通信工・情報システム工・建築・環境デザイン		

(4) 履修制限

文化コミュニケーション学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

10P学生に適用

各セメで履修できる単位数	1～6セメ	最大22単位/セメ(教職を除く):年間44単位
	7～8セメ	最大24単位/セメ(教職を除く):年間48単位
学年(セメスター)による科目の制限	<p>1セメ:1セメ配当科目から履修することができます。 2セメ:1～2セメ配当科目から履修することができます。 3セメ:1～3セメ配当科目から履修することができます。 4セメ:1～4セメ配当科目から履修することができます。 5セメ:1～5セメ配当科目から履修することができます。 6セメ:1～6セメ配当科目から履修することができます。 7セメ:1～7セメ配当科目から履修することができます。 8セメ:すべての科目から履修することができます。 ※ただし、前・後期によって開講していない科目、制限のある科目は履修することができません。</p>	
基本科目	コミュニケーション英語分野	■「コミュニケーション英語1～4」を必修としますが、留学生は選択科目とし、履修しなくてもかまいません。
	言語文化分野	■6単位を選択必修としますが、留学生は選択科目とし、履修しなくてもかまいません。
	日本事情分野 日本語分野	<p>■留学生は、「日本事情1～3」、「日本語1～4」、「上級日本語1～4」を必修科目とします</p> <p>■留学生以外は履修することができません。</p>
実践科目	卒業研究分野	<p>■「卒業研究1」は、一定の条件を満たさないと履修することができません。</p> <p>■「卒業研究1」を修得しないと「卒業研究2」を履修することができません。</p>
資格支援科目		<p>■教職関連科目に係る授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道徳教育の研究」および「人権教育」の科目については、【基本科目】の<現代社会と文化>分野の卒業要件単位に、「生涯学習論」については、展開科目区分の学部共通科目分野に算入します。</p>
その他		既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

※未開講科目については、掲示またはポータルシステムで案内します。

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1セメ・2セメ	3セメ・4セメ	5セメ・6セメ	7セメ・8セメ	卒業
1年	2年	3年	4年	卒業できる

来年度欄 (6セメ以上)

卒見証発行	有	無	
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可	
卒研資格	有	無	済
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済

- ・卒業研究履修資格欄 (6セメ以上)
学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可否が表示されます。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間（編入生は2年間）以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位124単位以上（編入生は別途定める）を修得

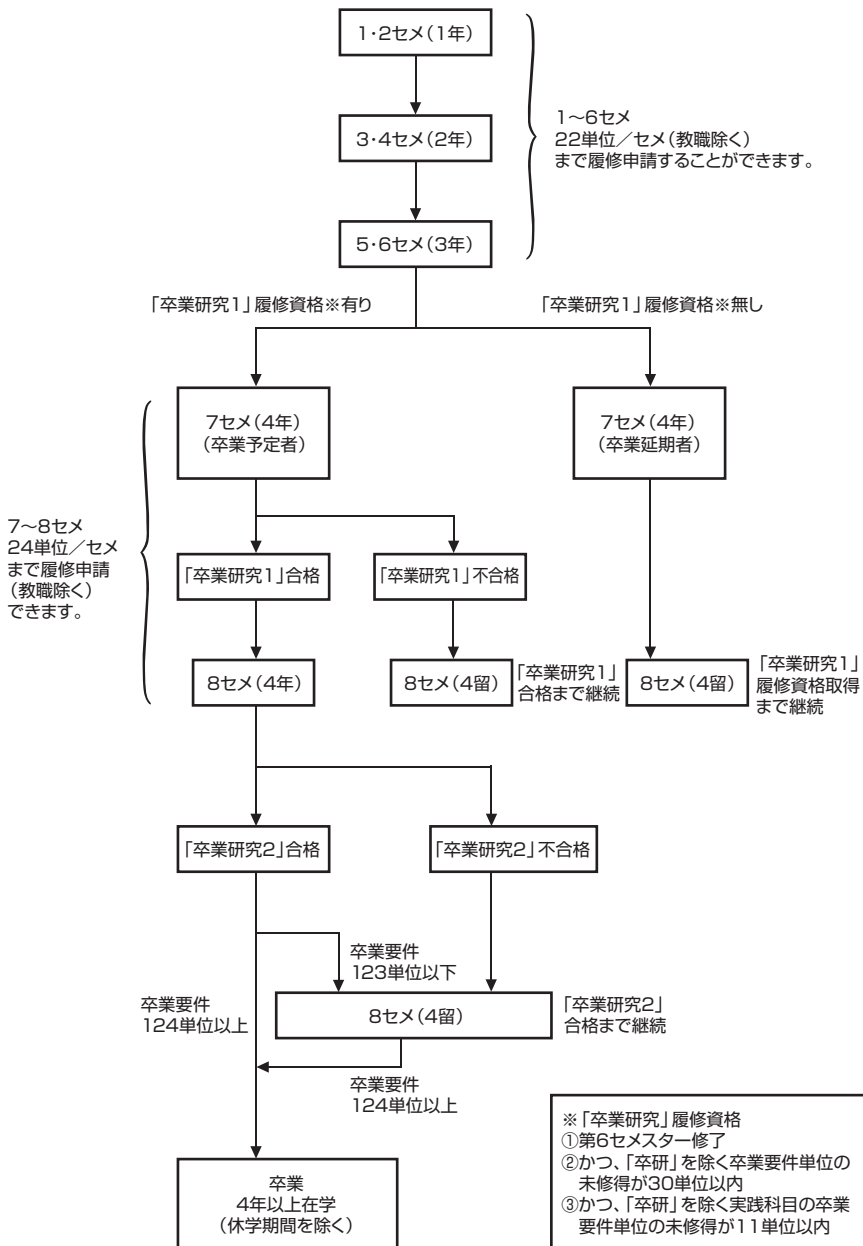
カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

（1）卒業要件単位数

基本 科 目	人間環境概論		4単位以上	44 単 位 以 上	124 単 位	学士（人間環境学）
	環境の基礎		6単位以上			
	コミュニケーション英語		4単位以上（留学生は要件なし）			
	言語文化		6単位以上（留学生は要件なし）			
	現代社会と文化		10単位以上			
	身体基礎科学					
	日本事情		6単位（留学生のみ）			
日本語		8単位（留学生のみ）				
展 開 科 目	文化コミュニケーション科目		24単位以上	44 単 位 以 上	124 単 位	学士（人間環境学）
	学部共通科目		12単位以上（自由科目8単位を含む）			
実 践 科 目	文化 コミュニ ケーション	フィールド/ スタジオ・ワーク	12単位以上	23 単 位 以 上	124 単 位	学士（人間環境学）
	共 通 科 目	コンピュータ演習	6単位以上			
		卒業研究	4単位			
4年以上在学						

(2) 進級の条件

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【基本科目】 44単位以上

①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

「人間環境学概論」、「文化環境学概論」、「コミュニケーション英語1～4」の計6科目8単位を、留学生は「人間環境学概論」、「文化環境学概論」、「日本事情1～3」、「日本語1～4」、「上級日本語1～4」の計13科目18単位を必ず修得してください。

②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

必修科目以外に、環境の基礎分野から6単位、言語文化分野から6単位、現代社会と文化分野と身体基礎科学分野から合わせて10単位、計22単位を、留学生は、環境の基礎分野から6単位、現代社会と文化分野と身体基礎科学分野から併せて4単位、計10単位を修得してください。留学生は、言語文化分野から単位を修得しなくてもかまいません。

③選択科目(必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、14単位以上(留学生は16単位以上)を修得してください。選択必修科目の要件単位を超えた単位は選択科目の単位に入ります。

【展開科目】 44単位以上

①選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

文化コミュニケーション科目分野から24単位、学部共通科目分野から12単位、計36単位を修得してください。

②選択科目(選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

選択必修科目以外に、8単位以上を修得してください。選択必修科目の要件単位を超えた単位は選択科目の単位に入ります。

【実践科目】 23単位以上

①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

「コミュニケーション演習1・2」、「フィールド・スタディ1」、「ゼミナール1～3」、「コンピュータ基礎演習1・2」、「卒業研究1・2」の計10科目22単位を必ず修得してください。

②選択科目(必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

必修科目以外に、1単位以上を修得してください。

※基本科目(44単位以上)、展開科目(44単位以上)、実践科目(23単位以上)の最低要件単位は合計111単位です。卒業要件124単位に不足する13単位については、各区分の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

04. 卒業研究

(1) 「卒業研究1」、「卒業研究2」

「卒業研究1」、「卒業研究2」は必修科目です。(2)の条件を満たした場合、次年度より履修することができます。「卒業研究1」、「卒業研究2」は、原則同一教員で履修します。

(2) 「卒業研究1」、「卒業研究2」の履修資格

第6セメスターを修了して、「卒業研究1・2」を除く卒業要件単位の未修得が30単位以内、かつ実践科目の卒業要件単位のうち、未修得が11単位以内であれば、次年度より「卒業研究」を履修することができます。

「卒業研究2」を履修するためには、「卒業研究1」を修得しておかなければなりません。

05. 卒業見込証明書

在学期間が6セメスター以上で、その年度に履修申請した単位の修得により卒業要件124単位を充足できる場合、5月上旬から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、13号館1階)を利用してください。

06. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる（あるいは取得の要件の1つとなる）資格・免許を一覧表にしましたので、履修コースや履修科目選択の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。各資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

(1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（公民）	文化コミュニケーション学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得。 詳細は教職ガイダンスで説明します。
中学校教諭一種免許状（社会）	生活環境学科	
高等学校教諭一種免許状（保健体育）	スポーツ健康学科	
中学校教諭一種免許状（保健体育）		

(2) 学科別認定資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会教育主事	1年以上社会教育主事補の職につけば、任用資格が与えられます。	人間環境学部	大学に2年以上在学して62単位以上修得し、資格取得のために特に定められた科目を修得した者。

(3) 特定科目修了により取得できる資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会福祉主事	任用資格が与えられます。	全学部	・卒業 ・資格取得のために特に定められた科目を修得してください。

(4) 本学で実施する資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
ボランティア・NPO講座	人間環境学部	本学独自の講座で、卒業後、NPO活動、NGOの進路が開けます。講義科目（2科目）、演習科目（2科目）、ボランティア・インターンシップ（夏期集中）の5科目から構成されています。

(5) 人間環境学部推薦資格

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
福祉住環境コーディネーター	全学部	年2回、各商工会議所で実施されます。
環境管理士		クリーンな社会の建設を目指し、市民生活、企業、自治体における環境管理のスペシャリストの資格。原則として通信講座を受講し修了試験などの資格審査に合格すると免許登録できます。
環境計量士		年1回実施されています。人間環境学部に支援授業科目があります。
公害防止管理者		年1回実施されています。水質関係公害防止管理者の資格について、人間環境学部に支援授業科目があります。
初級システム アドミニストレータ		春と秋の年2回、実施されています。
基本情報技術者		春と秋の年2回、実施されています。

(6) 支援授業科目

①環境計量士

試験内容:「環境計量士」は、濃度関係(化学分野)と騒音・振動関係(物理分野)に分かれる。

・濃度関係

化学の基礎知識、環境・計量関係法規、化学分析概論、濃度の計量、計量管理概論

・騒音・振動関係

物理の基礎知識、環境・計量関係法規、音響・振動概論、音圧レベル・振動加速度レベルの計量、計量管理概論

支援授業科目一覧

環境法、環境計測論、環境制御論、大気環境論、騒音・振動論、水環境論、環境と国際協力、化学の基礎

②公害防止管理者

試験内容

・水質関係第一種～第四種公害防止管理者

公害概論、水質汚濁関係法令、汚水等処理技術一般、水質汚濁関係有害物質処理技術、測定技術

支援授業科目一覧

環境法、環境計測論、水環境論、環境と国際協力、環境制御論、化学の基礎

③初級システムアドミニストレータ・基本情報技術者

試験内容

・コンピュータ科学基礎、コンピュータシステム、システムの開発と運用、ネットワーク技術、データベース技術、セキュリティと標準化

支援授業科目一覧

コンピュータの基礎、コンピュータの応用、コンピュータ基礎演習1、コンピュータ基礎演習2、コンピュータ応用演習1、コンピュータ応用演習2

07.カリキュラム

(1) 基本科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時間 数				備 考				
				1年次	2年次	3年次	4年次					
				1セメ(前)	2セメ(後)	3セメ(前)	4セメ(後)					
基本 科目	人間環境概論	人間環境学概論	②	4(必修を含む)以上								
		文化環境学概論	②			2						
		身体環境学概論	2			2						
		生活環境学概論	2			2						
	環境 の 基 礎	社会科学の基礎	経済学の基礎	2	6以上 44以上							※□
			社会学の基礎	2			2					※□
		歴史学の基礎	2			2						
		心身科学の基礎	健康管理の基礎	2			2					
			身体科学の基礎	2			2					
		環境科学の基礎	心理学の基礎	2				2				
			数理・統計の基礎	2			2					
			物理学の基礎	2				2				
			化学の基礎	2			2					
			生物学の基礎	2				2				
	地球科学の基礎		2			2						
	コンピュータの基礎	コンピュータの基礎	2			2						
		コンピュータの応用	2			2						
	コミュニケーション英語	コミュニケーション英語1	①	4(必修を含む)以上								留学生は選択科目
		コミュニケーション英語2	①			2						留学生は選択科目
		コミュニケーション英語3	①				2					留学生は選択科目
		コミュニケーション英語4	①					2				留学生は選択科目
		アドヴァンスト英語1	2			2						
		アドヴァンスト英語2	2				2					
		アドヴァンスト英語3	2					2				
アドヴァンスト英語4		2						2				
アドヴァンスト英語5		2							2			
アドヴァンスト英語6		2								2		
英語海外研修	2					2	2			集中		

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
				1セメ、2セメ (前)、(後)	3セメ、4セメ (前)、(後)	5セメ、6セメ (前)、(後)	7セメ、8セメ (前)、(後)		
基 本 科 目	言 語 文 化	ドイツ語 1	2	6以上 (44以上) (124)	4				集中
		ドイツ語 2	2		4				
		ドイツ語 3	2			4			
		ドイツ語 4	2				4		
		ドイツ語海外研修	2				2	2	
		フランス語 1	2		4				
		フランス語 2	2			4			
		フランス語 3	2				4		
		フランス語 4	2					4	
		フランス語海外研修	2				2	2	
		中国語 1	2		4				
		中国語 2	2			4			
		中国語 3	2				4		
		中国語 4	2					4	
		中国語海外研修	2				2	2	
		朝鮮語 1	2		4				
		朝鮮語 2	2			4			
		朝鮮語 3	2				4		
朝鮮語 4	2				4				
朝鮮語海外研修	2			2	2				
								集中	

(2)展開科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考					
				1年次		2年次		3年次		4年次							
				1セメ (前)	2セメ (後)	3セメ (前)	4セメ (後)	5セメ (前)	6セメ (後)	7セメ (前)	8セメ (後)						
展 開 科 目	日本文化論	2	24 以上	44 以上	(12)		2							※イ ※イ			
	中国文化論	2					2										
	韓国・朝鮮文化論	2					2										
	ヨーロッパ文化論	2					2										
	英米文化論	2					2										
	比較文化論	2						2									
	伝統文化論	2						2									
	メディア文化論	2						2									
	大衆文化論	2						2									
	生活文化論	2						2									
	コミュニケーション論	2							2								
	比較社会論	2							2								
	社会変動論	2						2									
	西洋近代史	2						2									
	文章表現論	2							2								
	心身医療概論	2						2									
	交流分析	2							2								
	サプリメント総論	2							2								
	補完医療概論	2							2								
	発達心理学	2							2								
心理学研究法	2				2												
健康心理学	2					2											

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
				1セメ'2セメ (前) (後)	3セメ'4セメ (前) (後)	5セメ'6セメ (前) (後)	7セメ'8セメ (前) (後)		
展 開 部 共 通 科 目	文化と環境	人間存在論	2			2		※イ	
		環境倫理	2		2				
		生命倫理	2			2			
		宗教環境論	2			2			
		環境教育論	2			2			
		アジア近代史	2			2			
		都市地理学	2			2			
		都市の歴史	2			2			
		都市と風土	2		2				
		観光論	2			2			
		環境心理学	2			2			
		学習心理学	2			2			
	ボランティアマネジメント論	2			2		※イ・ハ ※イ		
	経済社会と環境 生活・自然と環境	文化社会学	2	12以上 (44以上) (124)			2		※イ・ロ
		都市社会学	2			2			
		現代社会と法	2			2			
		環境法	2			2			
		環境行政	2			2			
		環境政策論	2			2			
		エコビジネス論	2			2			
		環境経済論	2			2			
		情報倫理	2			2			
		社会福祉論	2			2			
		食と農	2			2			
		エコロジー論	2			2			
		地球環境とライフスタイル	2			2			
		生活環境と住まい	2			2			
		都市環境とみどり	2			2			

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セメ 2セメ (前) (後)	3セメ 4セメ (前) (後)	5セメ 6セメ (前) (後)	7セメ 8セメ (前) (後)				
展 開 部 共 通 科 目	健康と環境学	医学一般	2		2				※□		
		精神医学	2			2			※□		
		精神保健論	2		2						
		運動指導の心理学	2			2					
		環境衛生学	2			2					
		スポーツ文化論	2				2				
		産業体育論	2				2				
		健康栄養論	2		2						
	キャリア教育	健康運動プログラム論	2			2					
		自己啓発とコミュニケーション1	2	(12以上) (44以上) (124)		2					
		自己啓発とコミュニケーション2	2			2					
		生涯学習論	2			2				教職課程科目/※イ	
		生涯学習特論	2			2				※イ	
		社会教育計画1	2			2				※イ	
		社会教育計画2	2			2				※イ	
		社会教育課題研究1	2			2				※イ	
		社会教育課題研究2	2			2				※イ	
		特別講義A	2			2					
		特別講義B	2			2					
		特別講義C	2				2				
特別講義D	2					2					
小 計		142	44以上	0	0	36	48	34	22	2	0

(3)実践科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考					
				1年次	2年次	3年次	4年次						
				1セメ、2セメ (前) ; (後)	3セメ、4セメ (前) ; (後)	5セメ、6セメ (前) ; (後)	7セメ、8セメ (前) ; (後)						
実 践 科 目	文化コミュニケーション フィールド/スタジオワーク	プロゼミナール	1	12 (必修を含む) 以上	23 以上 (124)	2							
		コミュニケーション演習1	②			2							
		コミュニケーション演習2	②				2						
		フィールド・スタディ1	②			6							
		フィールド・スタディ2	2				6						
		フィールド・スタディ3	2					6					
		ゼミナール 1	②					2					
		ゼミナール 2	②						2				
		ゼミナール 3	②							2			
	共通科目	コンピュータ演習	コンピュータ基礎演習1	③	6 (必修を含む) 以上	23 以上 (124)	6						
			コンピュータ基礎演習2	③			6						
			コンピュータ応用演習1	2				4					
			コンピュータ応用演習2	2					4				
卒業研究		卒業研究 1	②	4						4	(4)		
卒業研究 2	②						(4)	4					
小 計		31	23以上			14	8	12	6	8	2	4	4
基本科目、展開科目、実践科目合計		317	124			66	72	92	90	44	26	6	4

注) 履修要件および資格支援科目について

- イ 別に定める教職関連科目に係わる授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道徳教育の研究」および「人権教育」の各科目は、履修し修得した単位を、基本科目区分の現代社会と文化分野の卒業要件単位に組み入れることができる。
- ロ 留学生の基本科目区分の履修要件については、次のとおりとする。
 - (1) コミュニケーション英語分野については、すべての科目を選択科目として取り扱い、卒業要件最低単位の条件を除外する。
 - (2) 言語文化分野については、すべての科目を選択科目として取り扱い、卒業要件最低単位の条件を除外する。ただし、母語を履修することができない。
 - (3) 日本事情分野については、すべての科目を必修科目とし、現代社会と文化分野および身体基礎科学分野を含めて、10単位以上を卒業要件最低単位とする。
 - (4) 日本語分野については、すべての科目を必修科目として取り扱い。
- ハ 資格支援科目に係わる備考欄中の表記は、次のとおりとする。
 - (1) ※イは、別に定める「社会教育主事」の資格取得に係わる科目
 - (2) ※ロは、別に定める「社会福祉主事」の資格取得に係わる科目
 - (3) ※ハは、別に定める「ボランティア・NPO講座」に係わる科目

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

【資格取得に係わる科目】

イ. 社会教育主事

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

社会教育主事となる資格を得ようとする者は、社会教育法第9条の4に定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最 低 修 得 単 位 数	週 時 間 数								備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			1セメ (前)	2セメ (後)	3セメ (前)	4セメ (後)	5セメ (前)	6セメ (後)	7セメ (前)	8セメ (後)		
生涯学習論	②	12		2								※○○
生涯学習特論	②				2							※○○
社会教育計画1	②			2								※○○
社会教育計画2	②				2							※○○
社会教育課題研究1	②			2								※○○
社会教育課題研究2	②				2							※○○
社会教育特講I (現代社会と 社会教育)	環境教育論	2				2						※○△
	社会福祉論	2				2						※○○
社会教育特講II (社会教育活 動・事業施設)	ジェンダー論	2		2								※○○
	人権教育	2			2							※○○
	道德教育の研究	2			2							※○○
社会教育特講III (社会教育活 動・事業施設)	ボランティアマネジメント論	2				2						※○○
	社会とボランティア	2	2									※○○
社会教育特講III (その他必要 な科目)	ボランティア・インターンシップ	2		2								※○○(集中)
	宗教と人間	2		2								※○○
	コミュニケーション論	2				2						※□△
	文化社会学	2					2					※○△
	比較社会学	2					2					※□△
	教育心理学	2	2									※○○
教育哲学	教育哲学	2		2								※○○
	教育方法論	2		2								
合 計	42	24	4	6	10	12	8	2	0	0		

注) 1.履修方法について

イ 単位数を○でかこんだ12単位を、必修科目とする。

ロ 選択科目を12単位とし、科目分野の社会教育特講I、社会教育特講IIおよび社会教育特講IIIの各分野にわたって履修することが望ましい。

2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目

3.備考欄中の○印は、生活環境学科の卒業要件単位に算入される科目

4.備考欄中の◎印は、スポーツ健康学科の卒業要件単位に算入される科目

5.備考欄中の□印は、生活環境学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

6.備考欄中の△印は、スポーツ健康学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

ロ. 社会福祉主事

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

社会福祉主事となる資格を得ようとする者は、社会福祉事業法第18条の定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考				
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			1セム(前) 2セム(後)	3セム(前) 4セム(後)	5セム(前) 6セム(後)	7セム(前) 8セム(後)					
社 会 福 祉 論	2	6			2		※○○				
精 神 医 学	2				2		※□○				
経 済 学 の 基 礎	2		2				※○○				
心 理 学 概 論	2		2				※○○				
社 会 学 の 基 礎	2		2				※○○				
医 学 一 般	2			2			※□○				
公 衆 衛 生 学	2				2		△□○				
合 計	14	6	0	6	2	0	6	0	0	0	

注) 1.履修については、3科目6単位を修得すること。

- 2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目
- 3.備考欄中の○印は、生活環境学科の卒業要件単位に算入される科目
- 4.備考欄中の◎印は、スポーツ健康学科の卒業要件単位に算入される科目
- 5.備考欄中の△印は、文化コミュニケーション学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目
- 6.備考欄中の□印は、生活環境学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

ハ. ボランティア・NPO講座

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考				
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			1セム(前) 2セム(後)	3セム(前) 4セム(後)	5セム(前) 6セム(後)	7セム(前) 8セム(後)					
社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア	2	10	2				※				
ボ ラ ン テ ィ ア マ ネ ジ メ ン ト 論	2			2			※				
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 1	2			2			※(集中)				
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 2	2			2			※(集中)				
ボ ラ ン テ ィ ア ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ	2			2			※(集中)				
合 計	10	10	2	0	4	4	0	0	0	0	

注) 備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目

Chapter

02

STUDY PLAN-08P 編入生

01.履修モデル	043
02.履修制限	044
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	044
04.卒業研究	047
05.卒業見込証明書	047
06.カリキュラム	048

01. 履修モデル

文化コミュニケーション学科の科目は大別すると、基本科目、展開科目、実践科目になります。卒業するためには、基本科目4単位(留学生は8単位)以上、展開科目36単位以上、実践科目15単位以上、計62単位を修得しなければなりません。

【基本科目】4単位以上(留学生は8単位以上)

修得すべき科目は次のように決められています。

・1～2セメスター配当の基本科目:「人間環境学概論」、「文化環境学概論」

※留学生は、「上級日本語1・2・3・4」も修得します。

【展開科目】36単位以上

3セメスターからスタートする科目分野から、自由に選択することができます。ただし、次の最低必要な単位数を、すべて満たさなければなりません。

- ①文化コミュニケーション科目分野から24単位以上
- ②学部共通科目分野から12単位以上

【実践科目】15単位以上

以下3つの科目分野から所定の単位を修得してください。

- ①フィールド/スタジオ・ワーク(計8単位以上)
・必修:「コミュニケーション演習1・2」、「ゼミナール2・3」
- ②コンピュータ演習—3単位以上
- ③卒業研究—「卒業研究1・2」4単位

02. 履修制限

文化コミュニケーション学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

08P編入生に適用

各セメで履修できる単位数	5～6セメ	最大22単位/セメ(教職を除く):年間44単位
	7～8セメ	最大24単位/セメ(教職を除く):年間48単位
学年(セメスター)による科目の制限	5セメ:1～5セメ配当科目から履修することができます。 6セメ:1～6セメ配当科目から履修することができます。 7セメ:1～7セメ配当科目から履修することができます。 8セメ:全ての科目から履修することができます。 ※ただし、前・後期によって開講していない科目、制限のある科目は履修することができません。	
基本科目	■環境の基礎分野、コミュニケーション英語、言語文化、現代社会と文化分野、身体基礎科学分野、日本事情分野は、卒業要件単位に算入されません。 ■留学生は、「上級日本語1～4」を必修とします。	
実践科目	■「プロゼミナル」、「フィールド・スタディ1」は履修することができません。	
その他	既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。	

03. 卒業要件単位数(外国人留学生も共通)

(1) 卒業要件単位数

卒業するためには、以下の要領で基本科目4単位(留学生は8単位)以上、展開科目36単位以上、実践科目15単位以上、計62単位を修得しなければなりません。

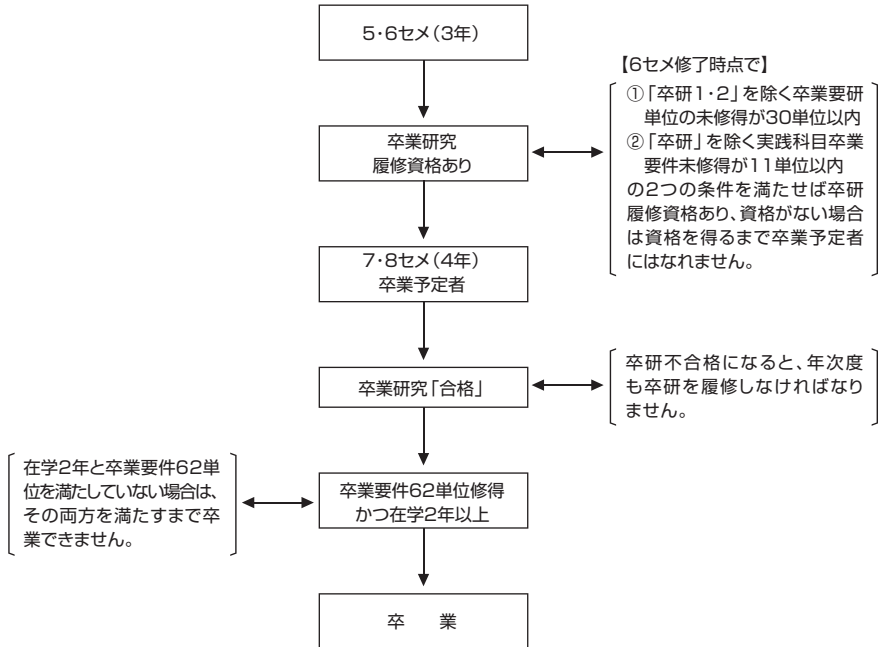
基本科目	人間環境概論	「人間環境学概論」、 「文化環境学概論」必修	4単位～	4単位～ (留学生は 8単位～)	62 単位	学 士 人 間 環 境 学
	日本語(留学生のみ)	「上級日本語1・2・3・4」必修	4単位			
展開科目	文化コミュニケーション科目		24単位～	36単位～		
	学部共通科目	(自由科目4単位を含む)	12単位～			
実践科目	フィールド/スタジオ・ワーク	「コミュニケーション演習1・2」 「ゼミナル2・3」必修	8単位～	15単位～		
	コンピュータ演習		3単位～			
	卒業研究	「卒業研究1・2」必修	4単位			

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、6セメ修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、2年間で卒業できなくなります。

なお、5～6セメは最大22単位／セメ（教職を除く）、7～8セメは最大24単位／セメ（教職を除く）の履修制限がありますので、計画的に修学してください。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【基本科目】4単位以上(留学生は8単位以上)

必修科目:以下の2科目4単位(留学生は6科目8単位)を必ず修得してください。

分野	科目名	単位数
人間環境概論	人間環境学概論	2
	文化環境学概論	2
日本語 *留学生のみ	上級日本語1	1
	上級日本語2	1
	上級日本語3	1
	上級日本語4	1

【展開科目】36単位以上

選択必修科目:文化コミュニケーション科目分野から24単位以上、学部共通科目分野から12単位以上(自由科目4単位を含む。)、計36単位以上を修得してください。

【実践科目】15単位以上

①必修科目:以下の6科目12単位を必ず修得してください。

分野	科目名	単位数
フィールド/スタジオ・ワーク	コミュニケーション演習1	2
	コミュニケーション演習2	2
	ゼミナール2	2
	ゼミナール3	2
卒業研究	卒業研究1	2
	卒業研究2	2

②選択必修科目:必修科目以外に、コンピュータ演習分野から3単位以上を修得してください。

※基本科目最低要件4単位(留学生は8単位)、展開科目最低要件36単位、実践科目最低要件15単位、計55単位(留学生は59単位)以外に、選択科目として7単位(留学生は3単位)を修得してください。ただし、卒業要件単位に入らない科目や、「プロゼミナール」など履修できない科目は除きます。

04. 卒業研究

(1) 「卒業研究1」、「卒業研究2」

卒業するためには「卒業研究1」、「卒業研究2」を修得しなければなりません。第7セメスター（第4年次の前期）以降、「卒業研究1」、「卒業研究2」を履修するためには、第6セメスター（第3年次の後期）修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究1」、「卒業研究2」の履修についての質問や相談がある場合には、Web履修申請する前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

(2) 「卒業研究1」、「卒業研究2」の履修資格

①「卒業研究1」（7セメ）を履修するためには、次の2つの条件を満たさなければなりません。

【6セメ修了時点】

1)「卒業研究1」、「卒業研究2」を除く卒業要件単位数58単位のうち、未修得が30単位以内（28単位以上修得）でなければなりません。

2)実践科目（「卒業研究1」、「卒業研究2」を除く）の卒業要件単位のうち、未修得が11単位以内でなければなりません。

②「卒業研究2」を履修するためには、「卒業研究1」を修得しておかなければなりません。

③「卒業研究1」、「卒業研究2」は、原則同一教員で履修します。

05. 卒業見込証明書

在学期間が1年以上で、その年度に履修登録した単位の修得により卒業要件単位62単位を充足できる場合、5月上旬から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、13号館1階）を利用してください。

06.カリキュラム

(1) 基本科目

注)編入生の卒業要件単位は62単位です。

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セメ (前);(後)	2セメ (前);(後)	3セメ (前);(後)	4セメ (前);(後)				
基 本 科 目	人間環境 概論	人間環境学概論	②	4 (必修を含む)以上	2						
		文化環境学概論	②			2					
		身体環境学概論	2		2						
		生活環境学概論	2			2					
	環 境 の 基 礎	社会科学の 基礎	経済学の基礎	—	4 以上 (留学生8以上)		2				※□
			社会学の基礎	—			2				※□
			歴史学の基礎	—		2					
		心身科学の 基礎	健康管理の基礎	—		2					
			身体科学の基礎	—		2					
			心理学の基礎	—			2				
		環境科学の 基礎	数理・統計の基礎	—		2					
			物理学の基礎	—			2				
			化学の基礎	—		2					
			生物学の基礎	—			2				
	科学基礎	地球科学の基礎	—		2						
		コンピュータの基礎	—	2							
		コンピュータの応用	—		2						
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語	コミュニケーション英語1	—	62	2					留学生は選択科目	
		コミュニケーション英語2	—			2				留学生は選択科目	
		コミュニケーション英語3	—				2			留学生は選択科目	
		コミュニケーション英語4	—					2		留学生は選択科目	
		アドヴァンスト英語1	—		2						
		アドヴァンスト英語2	—			2					
		アドヴァンスト英語3	—				2				
アドヴァンスト英語4		—					2				
アドヴァンスト英語5		—						2			
アドヴァンスト英語6		—							2		
英語海外研修	—			2	2			集中			
言 語 文 化	ドイツ語1	—	—	4							
	ドイツ語2	—			4						
	ドイツ語3	—				4					
	ドイツ語4	—					4				
	ドイツ語海外研修	—				2	2			集中	
	フランス語1	—		4							
	フランス語2	—			4						
	フランス語3	—				4					
	フランス語4	—					4				
フランス語海外研修	—			2	2			集中			

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セメ'2セメ (前)'(後)	3セメ'4セメ (前)'(後)	5セメ'6セメ (前)'(後)	7セメ'8セメ (前)'(後)				
基 本 科 目	言 語 文 化	中国語 1	—	4 (以上) (留学生8以上)	62	4				集中	
		中国語 2	—			4					
		中国語 3	—				4				
		中国語 4	—					4			
		中国語海外研修	—				2	2			
		朝鮮語 1	—			4					
		朝鮮語 2	—				4				
		朝鮮語 3	—					4			
		朝鮮語 4	—					2	2		
		朝鮮語海外研修	—				2	2			
	現 代 社 会 と 文 化	環境思想史	—				2				※イ
		日本文化史	—				2				
		平和学	—				2				
		宗教と人間	—				2				
		日本と西洋	—				2				
		日本と中国	—				2				
		日本と韓国・朝鮮	—				2				
		日本国憲法	—				2				
		世界の政治	—				2				
		文化人類学	—				2				
		都市と農村	—				2				
		民族とマイノリティ	—					2			
		ジェンダー論	—					2			
		心理学概論	—					2			
	身 体 基 礎	社会とボランティア	—				2				※イ ※ロ
		ボランティア活動支援演習1	—					2			集中/※八
		ボランティア活動支援演習2	—						2		集中/※八
		ボランティア・インターンシップ	—					2			集中/※イ・八
	日 本 事 情	スポーツ科学実習1	—				2				
		スポーツ科学実習2	—					2			
日 本 語	日本事情 1	—		2				留学生向け科目			
	日本事情 2	—			2			留学生向け科目			
	日本事情 3	—				2		留学生向け科目			
	日本語 1	—		2				留学生向け科目			
	日本語 2	—		2				留学生向け科目			
	日本語 3	—			2			留学生向け科目			
	日本語 4	—			2			留学生向け科目			
	上級日本語 1	①				2		留学生向け科目			
上級日本語 2	①				2		留学生向け科目				
上級日本語 3	①					2	留学生向け科目				
上級日本語 4	①					2	留学生向け科目				
小 計			4(留学生8)以上								

(2) 展開科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				1セム(前) 2セム(後)	3セム(前) 4セム(後)	5セム(前) 6セム(後)	7セム(前) 8セム(後)			
展 開 科 目	文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目	日 本 文 化 論	2	24 以上		2				※イ ※イ
		中 国 文 化 論	2			2				
		韓 国・朝 鮮 文 化 論	2			2				
		ヨ ー ロ ッ パ 文 化 論	2			2				
		英 米 文 化 論	2			2				
		比 較 文 化 論	2				2			
		伝 統 文 化 論	2				2			
		メ デ ィ ア 文 化 論	2				2			
		大 衆 文 化 論	2				2			
		生 活 文 化 論	2				2			
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2					2		
		比 較 社 会 論	2					2		
		社 会 変 動 論	2				2			
	西 洋 近 代 史	2				2				
	文 章 表 現 論	2				2				
	心 身 医 療 概 論	2				2				
	交 流 分 析	2					2			
	サ プ リ メ ン ト 総 論	2					2			
	補 完 医 療 概 論	2					2			
	発 達 心 理 学	2				2				
心 理 学 研 究 法	2				2					
健 康 心 理 学	2					2				
学 部 共 通 科 目	文 化 と 環 境	人 間 存 在 論	2	36 以上				2		※イ
		環 境 倫 理	2				2			
		生 命 倫 理	2					2		
		宗 教 環 境 論	2						2	
		環 境 教 育 論	2						2	
		ア ジ ア 近 代 史	2						2	
		都 市 地 理 学	2						2	
		都 市 の 歴 史	2					2		
		都 市 と 風 土	2						2	
		観 光 論	2						2	
		環 境 心 理 学	2						2	
		学 習 心 理 学	2						2	
		ボ ラ ン テ ィ ア マ ネ ジ ム ン ト 論	2						2	

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セメ ¹ 2セメ ² (前) (後)	3セメ ¹ 4セメ ² (前) (後)	5セメ ¹ 6セメ ² (前) (後)	7セメ ¹ 8セメ ² (前) (後)				
展 開 科 目	経済社会と環境	文化社会学	2			2		※イ			
		都市社会学	2		2						
		現代社会と法	2		2						
		環境法	2		2						
		環境行政	2		2						
		環境政策論	2		2						
		エコビジネス論	2		2						
		環境経済論	2		2						
		情報倫理	2		2						
	学 部	生活・自然と環境	社会福祉論	2		2		※イ・ロ			
			食と農	2		2					
			エコロジー論	2		2					
			地球環境とライフスタイル	2		2					
			生活環境と住まい	2		2					
			都市環境とみどり	2		2					
			共 通 科 目	健康と環境	医学一般	2			2		※ロ ※ロ
					精神医学	2			2		
					精神保健論	2			2		
	運動指導の心理学	2				2					
	環境衛生学	2				2					
	スポーツ文化論	2				2					
	目	キャリア教育		産業体育論	2		2				
				健康栄養論	2		2				
				健康運動プログラム論	2		2				
				自己啓発とコミュニケーション1	2		2				
				自己啓発とコミュニケーション2	2		2				
				生涯学習論	2		2				
	目	キャリア教育	生涯学習特論	2		2		教職課程科目/※イ ※イ ※イ ※イ ※イ ※イ			
			社会教育計画1	2		2					
			社会教育計画2	2		2					
社会教育課題研究1			2		2						
社会教育課題研究2			2		2						
特別講義 A			2		2						
特別講義 B			2		2						
特別講義 C			2		2						
特別講義 D			2		2						
小 計				36以上							

(3) 実践科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				1セメ _(前) 、2セメ _(後)	3セメ _(前) 、4セメ _(後)	5セメ _(前) 、6セメ _(後)	7セメ _(前) 、8セメ _(後)			
実践科目	文化コミュニケーション フィールド／スタジオ・ワーク	プロゼミナール	1	8 (必修を含む。)以上	15 以上 (62)	2				
		コミュニケーション演習1	②			2				
		コミュニケーション演習2	②				2			
		フィールド・スタディ1	1			6				
		フィールド・スタディ2	2				6			
		フィールド・スタディ3	2					6		
		ゼミナール1	2					2		
		ゼミナール2	②						2	
		ゼミナール3	②							2
	共通科目	コンピュータ演習	コンピュータ基礎演習1	3	3 以上	6				
			コンピュータ基礎演習2	3		6				
			コンピュータ応用演習1	2			4			
			コンピュータ応用演習2	2				4		
	卒業研究	卒業研究1	1	4				4	(4)	
		卒業研究2	②					(4)	4	
小 計			15以上							
基本科目、展開科目、実践科目合計				62						

注) 資格支援科目に係わる備考欄中の表記は、次のとおりとする。

- (1)※イは、別に定める「社会教育主事」の資格取得に係わる科目
- (2)※ロは、別に定める「社会福祉主事」の資格取得に係わる科目
- (3)※ハは、別に定める「ボランティア・NPO講座」に係わる科目

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合があります。

【資格取得に係る科目】

イ. 社会教育主事

社会教育主事となる資格を得ようとする者は、社会教育法第9条の4の定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			1セメ(前) 2セメ(後)	3セメ(前) 4セメ(後)	5セメ(前) 6セメ(後)	7セメ(前) 8セメ(後)	
生涯学習論	②		2				※
生涯学習特論	②			2			※
社会教育計画1	②		2				※
社会教育計画2	②			2			※
社会教育課題研究1	②		2				※
社会教育課題研究2	②			2			※
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	環境教育論	2			2		※
	社会福祉論	2			2		※
	ジェンダー論	2		2			※
	人権教育	2		2			※
	道德教育の研究	2			2		※
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	ボランティアマネジメント論	2		2			※
	社会とボランティア	2	2				※
	ボランティア・インターンシップ	2		2			※(集中)
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	宗教と人間	2		2			※
	コミュニケーション論	2			2		※
	文化社会学	2			2		※
	比較社会論	2			2		※
	教育心理学	2	2				※
	教育哲学	2		2			※
	教育方法論	2		2			
合 計	42	24	4 6	10 12	8 2	0 0	

注) 1.履修方法について

- イ 単位数を○でかこんだ12単位を、必修科目とする。
- ロ 選択科目を12単位とし、科目分野の社会教育特講Ⅰ、社会教育特講Ⅱおよび社会教育特講Ⅲの各分野にわたって履修することが望ましい。

2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目

ロ. 社会福祉主事

社会福祉主事となる資格を得ようとする者は、社会福祉事業法第18条の定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			1セメ(前)	2セメ(後)	3セメ(前)	4セメ(後)	5セメ(前)	6セメ(後)	7セメ(前)	8セメ(後)	
社 会 福 祉 論	2	6					2				※
精 神 医 学	2						2				※
経 済 学 の 基 礎	2			2							※
心 理 学 概 論	2			2							※
社 会 学 の 基 礎	2			2							※
医 学 一 般	2				2						※
公 衆 衛 生 学	2						2				△
合 計	14		6	0	6	2	0	6	0	0	0

注) 1.履修については、3科目6単位を修得すること。

2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目

3.備考欄中の△印は、文化コミュニケーション学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

ハ. ボランティア・NPO講座

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			1セメ(前)	2セメ(後)	3セメ(前)	4セメ(後)	5セメ(前)	6セメ(後)	7セメ(前)	8セメ(後)	
社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア	2	10	2								※
ボ ラ ン テ ィ ア マ ネ ジ メ ン ト 論	2				2						※
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 1	2			2							※(集中)
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 2	2				2						※(集中)
ボ ラ ン テ ィ ア ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ	2				2						※(集中)
合 計	10	10	2	0	4	4	0	0	0	0	

注) 備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目